

## ① デジタル田園都市国家構想とスーパーシティ

- ・デジタル田園都市国家構想は、高齢化や過疎化などの社会課題に直面する地方にこそ新たなデジタル技術を活用するニーズがあることに鑑み、デジタル技術の活用によって、地域の個性を生かしながら地方を活性化し、持続可能な経済社会を実現するものである。また、スーパーシティ構想は、地域のデジタル化と規制改革を行うことにより、2030年頃の未来社会の先行的な実現を目指すものである。
- ・両者はいずれも、デジタル技術の活用により、地域課題の解決を図る点で目的を同じくし、スーパーシティは、特に新たな規制制度の設計といった観点で、デジタル田園都市国家構想を先導するものである。

## ② スーパーシティとデジタル田園健康特区(仮称)との関係

- ・有識者からの提案を受け、革新的事業連携型の国家戦略特区制度を活用し、デジタル技術の活用によって、地域における健康、医療に関する課題の解決に重点的に取り組む複数の自治体をまとめ、デジタル田園健康特区(仮称)として指定することを検討する。
- ・スーパーシティが、幅広い分野でDXを進める「未来社会」志向であるのに対し、デジタル田園健康特区(仮称)は、人口減少、少子高齢化など特に地方部で問題となっている課題に焦点を当て、当該特区において先駆的に地域の課題解決を図ることを重視している。
- ・デジタル田園健康特区(仮称)は、新たな規制制度の設計に加え、自治体間の施策連携やデータ連携を推進する観点から、スーパーシティとともに、デジタル田園都市国家構想を先導することが期待される。

# デジタル田園都市国家構想との関係等

- スーパーシティが、幅広い分野でDXを進める「未来社会」志向であるのに対し、デジタル田園健康特区（仮称）は、人口減少、少子高齢化など特に地方部で問題となっている課題に焦点を当て、当該特区において先駆的に地域の課題解決を図ることを重視。
- いずれも国家戦略特区として、デジタル田園都市国家構想を先導することが期待される。

幅広い分野のDX  
（「未来社会」志向）

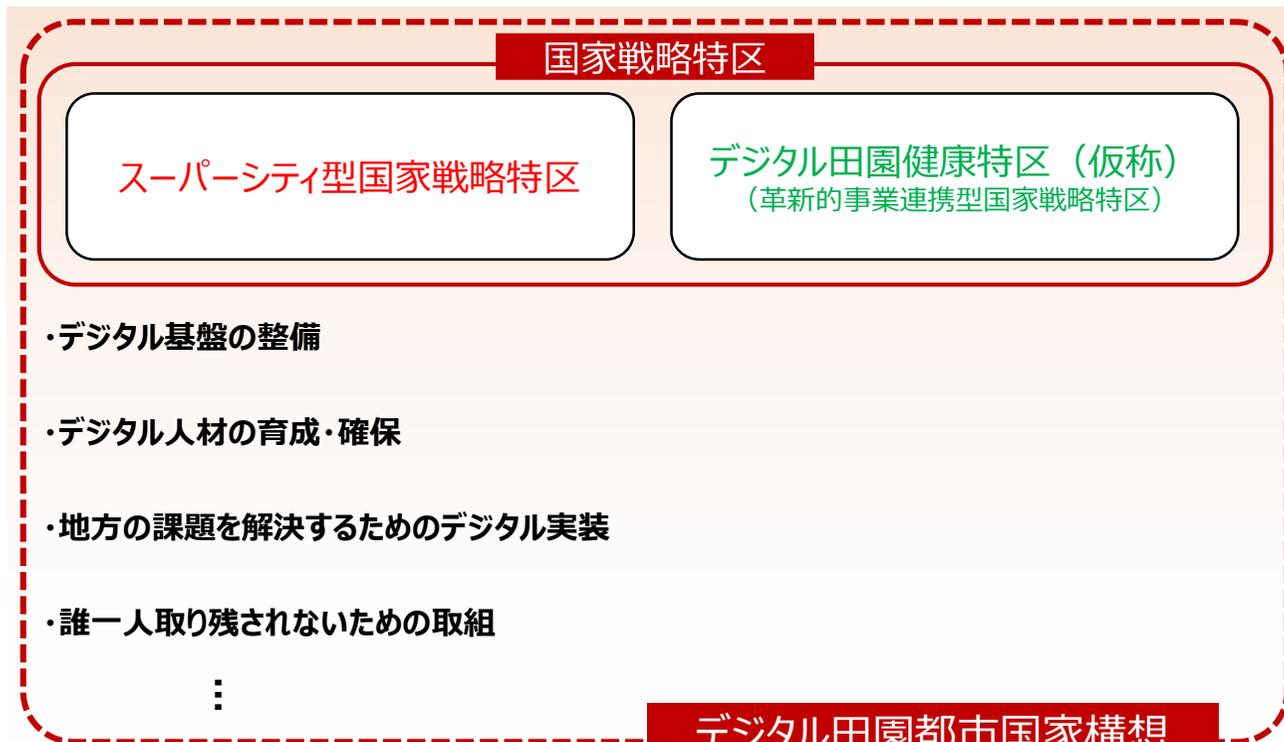


人口減少、少子高齢化への対応  
（「地域の課題解決」志向）

規制改革



現行制度



デジタル田園都市国家構想